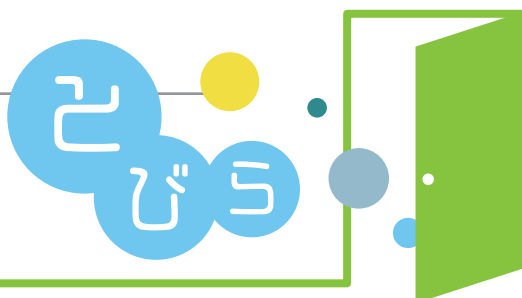


特集《対談》 — ものづくりの担い手から 現場の声を聞きました—



柏崎市議会だより

ギカイの



No.188 令和4(2022)年5月5日

今回の表紙

柏崎青年工業クラブの皆さん

ものづくりの現場から柏崎市の未来を考えます。
(場所 市役所)

もくじ

■ 特集《対談 柏崎青年工業クラブ》	P 2・3
■ 税金の使い道が決まりました、 賛否一覧	P 4～8
■ こんなことが決まりました	P 9
■ 常任委員会審査報告	P 10・11
■ 一般質問、ギカイのうごき	P 12～16
■ 今年度の議会活動の方針	P 17
■ 会派で政務活動を行いました	P 18・19
■ 6月定例会議日程 ほか	P 20



特集

《対談》

柏崎青年工業クラブ

〈ものづくりの担い手から現場の声を聞きました〉

工業クラブで育む人の絆が 柏崎の基幹産業を支える



令和3（2021）年度〔第49期〕役員のみなさん

柏崎青年工業クラブとは？

- 柏崎青年工業クラブは、柏崎地域の製造業の未来を担う若手集団です。今年、創立50周年を迎えました。
- 自主的な活動を通して自己の開発を図り、また、明日の柏崎の工業界の姿を探りつつ、経済的地位の改善向上を目指そうとしています。
- 子どもたちに、将来ものづくりに携わってもらいたいという壮大な夢もあります。

今までの活動で印象に残っていることは？

- 35周年事業で製作したエアトレインを使って、市民との交流ができたことです。
- 新潟工科大学で開催したこども工業まつり（40周年事業）の工作教室で、こどもたちにもものづくりの現場に触れてもらうことができました。

- 工業人ゴルフ大会はOB会員と交流する良い機会になっていて、横だけでなく縦のつながりも深めることができました。



40周年事業・こども工業まつりのエアトレイン
(35周年製作)

柏崎のものづくり産業における共通課題は？

- 人材確保全般です。特に若手の育成は難しく、2・3年で離職するケースもあります。
- 女性にも生産現場で活躍してほしいのですが、製造業というだけで敬遠されます。
- 重い物を持つ作業はそもそも危険を伴うので、そのような負荷を軽減して、男女問わず働きやすい職場づくりも必要だと思います。

創立50周年事業の主な内容は？

- ぎおん柏崎まつりに工業人みこしを出して、花火も打ち上げる予定です。
- 9月には、アルフォーレで柏崎工業フェスティバル（仮称）を2日間にわたって開催します。動画制作・発信、こうじょうマルシェ、工作教室、講演会など幅広い世代に楽しんでもいただける内容を考えています。
- ほかに、式典（10月）や記念誌の発行など、50年を振り返る事業を予定しています。

今後の柏崎青年工業クラブの在り方は？

- 肩肘張らず、緩い枠組みの中で自由に活動できるスタイルを受け継いでいきたいです。
- 今までどおり横のつながりを大切に、若い経営者がふさぎ込むことのない環境を保つことが必要です。酒席での雑談があってこそ信頼関係ですね（笑）。
- まもなく卒業ですが、この関係は一生ものです。入会してよかったです。

最後に、議会に望むことは？

- Uターン人材の採用活動への支援を後押ししてほしいです。手厚い支援のある他市と差が付いてしまいます。
- 産業界の若手リーダーと議員との交流ができたらいいと思います。



30周年事業・こども工業まつり



40周年事業・こども工業まつりの工作教室



令和元（2019）年ぎおん柏崎まつりの工業人みこし



ありがとうございました。

取材

三宮直人、星野幸彦
田邊優香、白川正志

税金の使い道が決まりました

～ 令和4(2022)年度予算案を全て可決 ～



内
訳

- 合計当初予算額
825億5854万9千円
- 一般会計予算
481億円
- 特別会計予算
193億9919万8千円
- 公営企業会計予算
150億5935万1千円

令和4(2022)年度予算案と施政方針演説に対して、3月2日の本会議において7つの会派が代表質問を行いました。主な質問項目は、5ページのとおりです。

予算決算常任委員会での審査については、6・7ページをご覧ください。

3月25日の本会議において、4人の議員が会派を代表して討論しました。採決の結果、一般会計予算は賛成多数で、その他の予算は全会一致で可決されました。議員の賛否状況は7ページ、一般会計予算案に対する討論要旨は8ページをご覧ください。



区 分		令和4(2022)年度	令和3(2021)年度	増減率
一般会計		481億円	475億円	1.3%
特別会計	国民健康保険事業	88億691万4千円	87億1469万円	1.1%
	後期高齢者医療	10億4499万3千円	10億1427万2千円	3.0%
	介護保険	94億3575万9千円	94億4294万2千円	△0.1%
	土地取得事業	1億289万9千円	1億1889万円	△13.5%
	墓園事業	863万3千円	885万6千円	△2.5%
公営企業会計	水道事業	63億3437万7千円	56億6956万8千円	11.7%
	下水道事業	87億2497万4千円	90億6537万3千円	△3.8%

代表質問で問う

【市長の施政方針と令和4(2022)年度予算】

民友



佐藤和典

- ① 持続可能な行政を目指すために
・新潟県核燃料税の配分に対する考え
- ② 安心な生活を守るための市政運営
・産業構造変革への挑戦と道筋
・拉致問題解決に向けた市の対応
・市民一丸となった新型コロナウイルス感染症への対応 ほか

公明党



若井恵子

- ① 新型コロナウイルス感染症対策と令和4(2022)年度の行政経営
- ② 令和4(2022)年度当初予算と地域経済産業
- ③ 地域エネルギー会社と2035年カーボンニュートラル
・地域エネルギー会社と柏崎市の行財政運営 ほか

柏盛クラブ



三宮直人



重野正毅

- ① デジタル人材の人材像
・人材像を育成するための課題は何か
- ② 子どもを取り巻く環境の充実
・子どもの貧困対策 ほか

自治研究会



布施 学

- ① 令和4(2022)年度の市政に対する考えとイノベーションの推進
- ② 防災・生活・環境～「頼もしさ」をつなぐまちを目指すこと
- ③ 産業・雇用～「豊かさ」をつなぐこと
- ④ 教育・スポーツ～「たくましさ」をつなぐこと ほか

社会クラブ・柏崎のみらい連合



飯塚寿之

- 施政方針について
- ・新年度予算と人口減少に向かう柏崎市の予算規模
 - ・新型コロナウイルスワクチンの子どもへの接種
 - ・コミュニティセンター、小・中学校など公共施設の統廃合と今後の財政運営 ほか

代表質問は、市長の施政方針や令和4(2022)年度の市政執行の全般的なことについて、会派の代表者が市長に対して、その方針や考え方を質問するものです。

なお、代表質問の詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。

代表質問の映像は
コチラ



代表質問の全項目は
コチラ



日本共産党柏崎市議員団



持田繁義

- ① 市民の意向と施政方針の関連
- ② DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進と課題
- ③ 人権教育・啓発推進計画の取り組み
- ④ 拉致被害の解決へ向けた取り組み
- ⑤ 柏崎刈羽原子力発電所に向き合う姿勢

柏崎の風

- ① 危機感 ② 人口減少対策 ③ 柏崎の将来像
- ④ 女性が活躍できる社会 ⑤ 産業支援 ⑥ 観光支援



阿部 基



上森 茜



山本博文



令和4(2022)年度予算案の 予算決算常任委員会での審査について報告します

3月7日の全体会で総括質疑を、3月11日から18日までの分科会で詳細な審査を行いました。
3月23日の全体会において採決した結果、全ての会計について可決すべきものと決しました。

総務分科会

■分科会長 阿部 基 ■副分科会長 布施 学
■委 員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

「地域活性化」に注目して審査しました

審査のポイント

地域おこし協力隊制度を地域活性化につなげる仕組みが整っているか。

主な対象事業

- ・地域おこし協力隊活用事業
(200万1000円)
- ・地域おこし協力隊活動経費
(2175万9000円)
- ・地域おこし協力隊定住定着支援事業
(142万円)
- ・地域間交流事業 (61万円)

主な質疑

- Q 新たに活動する地域おこし協力隊員の状況、
定住者への環境整備は整っているか。
- A 令和4年度に新たに募集する地区は、別俣

と石黒の2地区で各1人ずつを予定。任期終了後の定住希望者に家賃補助と起業・事業承継補助を予定している。

- Q 定住定着支援事業の対象人数や内容は。
- A 定住賃貸住宅支援補助金は3人分を計上。
起業・事業承継支援補助金は、起業に関心のある隊員1人分を予定している。



地域おこし協力隊の活動の様子

文教厚生分科会

■分科会長 重野正毅 ■副分科会長 白川正志
■委 員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

「新型コロナウイルス感染症生活支援」に注目して審査しました

審査のポイント

公平性に問題はないか、市民の安全・安心が確保されるものとなっているか。

主な対象事業

- ・新型コロナウイルス感染症生活支援事業
(506万円)

主な質疑

- Q 食料支援に切り替えた理由は。
- A 感染者は自宅療養が中心となったため、食料支援の方が効果的と判断した。
- Q 事業の内容は。
- A 感染者および同居家族の1週間分の食料品

や生活物資を運送業者が玄関前に届ける。

- Q 何人分を計上したか。期間を決めての支援策か。
- A 400人分を計上しているが、状況を見て補正も考えている。令和4年度はこの支援策で進める。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます審査した議案は
コチラ

産業建設分科会

■分科会長 山本博文 ■副分科会長 田邊優香

■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

新規事業と拡充された事業に注目して審査しました

対象事業

- ・事業構造強化促進事業（1億5400万円）
- ・製造業戦略的イノベーション推進基金積立金（2億2200万円）

主な質疑

Q 増額理由と事業の詳細は。**A** 新たな補助金と基金の創設によるもの。市内の製造業を対象とし、新分野展開や事業転換、業態転換を図る事業者に対し5件分の支援を予定している。

対象事業

- ・ぎおん柏崎まつり事業（4314万4000円）

主な質疑

Q 増額理由と事業の詳細は。**A** 増額は感染症対策や「新しい花火デザイン

募集」企画の花火打ち上げなどの費用。社会情勢を勘案し4月末には開催の可否を決定したい。

対象事業

- ・住まい快適リフォーム事業（5660万円）

主な質疑

Q 見込み件数は。**A** 前年度比20件増の290件を見込んでいる。

対象事業

- ・鶴川左岸第5雨水調整池整備工事（6億8400万円）

主な質疑

Q 進捗状況は。**A** 市街地治水対策全体計画のとおり、若干の遅れはあるが進捗は図られている。

私たちは

**賛成 × 反対** しました議決された議案などは
コチラ

議員賛否一覧（2月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	村田幸多朗	笠原晴彦	秋間一英	星野幸彦	重野正毅	三宮直人	近藤由香里	田邊優香	白川正志	山本博文	持田繁義	樋口良子	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	柄沢均	上森茜	春川敏浩	星野正仁	阿部基	真貝維義	
2月24日	令和3(2021)年度一般会計補正予算(第25号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3月25日	令和4(2022)年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠(疾病)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠(疾病)	○	○	○	—
3月25日	老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○		○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×

○は賛成

×は反対

欠は欠席

真貝維義議長は採決に加わりません。



録画映像

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

日本共産党柏崎市議員団

反対

- ①子育て支援を重点戦略としているが、疑問だ。経済負担軽減のための財政運営の工夫が不十分だ。
- ②地域エネルギー会社の設立・運営が不透明。利潤を追求する株式会社の社長と市長の職務を両立できるのか、不透明だ。
- ③女性活躍推進事業は、男女共同参画事業との連携が重要だ。女性の活躍、職制としての位置づけを強める必要があるが、まだ弱い。
- ④市長の原発に向き合う姿勢に問題。条件付き再稼働を容認する状況ではない。廃炉の覚悟を求めるべきだ。



持田繁義

柏崎の風

賛成

「子どもを取り巻く環境の充実」、「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」について強く進める意思が予算編成に表れている。「こどもまんなか」社会の推進、新分野展開など事業構造改革を行う事業者の背中を押すことができる取り組みと判断し、大きな評価とともに期待する。大変革期へ対応し、どこよりも早く前へ踏み出す柏崎市の前途が考慮され、将来にわたり持続可能なまちづくりを目指した予算編成であり、新型コロナウイルス感染症対策事業、人材育成・確保に関する事業を考慮した予算編成であると判断し、賛成する。



柄沢 均

社会クラブ・柏崎のみらい連合

賛成

学区等審議会において、今後さまざまな地域での統合案を審議されることになる。対象地域はそれぞれ条件が違う。保護者、地域の方、特に子どもたちの意見表明の場があるのか。子どもの権利をきちんと確保してほしい。教職員の意見も同様である。慎重な審議を望む。

新型コロナウイルス感染症に関わることでマンパワー不足により、教職員が疲弊することのないよう要望する。

児童・生徒の学びの意欲、市民の生涯の学びの意欲が高まるよう教育環境の整備に期待する。



笠原晴彦

民友

賛成

3つの意見を付し賛成する。

- ①若者や働く者に対する支援策が高く評価でき、施策を通して地域の活力を担う人材育成・確保につなげていただきたい。
- ②現在の柏崎市の産業構造からすれば、新たな産業構造変換・創出に力を入れることは、背水の陣を構える企業にとって最善の施策と評価する。
- ③後期基本計画の重点戦略に対し、手厚く配分されている。特に基金創設はまさに市長の危機感を表すとともに、危機の分散化を図り、スピード感を持ちながらも平準化を図った配分だと評価する。



佐藤和典



こんなことが 決まりました

2月定例会議 議案審議

Pick up

1

安心して産み、育てられるように、サポートが受けられます

◎産後ケア事業 510万9000円

令和4（2022）年度から産婦健康診査を公費助成するほか、新たに宿泊型の産後ケア事業が始まりました。出産後の回復や育児などに不安のある産婦が、退院後に子どもと一緒に病院に宿泊して、心身のケアや育児サポートなど、きめ細かい支援を受けることができるようになりました。



Pick up

2

米山の魅力を満喫できる施設整備に向けて調査が行われます

◎登山道遊歩道整備事業 742万4000円

米山の登山道周辺において、トイレや更衣室を備えたバス駐車場を整備するための調査が行われます。また、登山道や米山山頂施設の維持管理・修繕が行われます。



Pick up

3

消防団員の報酬が増額されました

◎消防団員報酬 6159万7000円

令和4（2022）年度から、消防団員に支払う年額報酬と出動報酬が増額されました。地域に密着し、地域の安全・安心に貢献している消防団員の処遇改善を図るものです。

議決した議案はコチラ



令和4(2022)年2月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 布施 学
■委 員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

5件の議案と1件の請願を審査しました。

・脱炭素エネルギー利活用の促進に関する条例

事業の概要

脱炭素エネルギーの利活用の促進に関し、市の責務を明らかにし、基本的な事項を定めることにより、持続可能なカーボンニュートラル社会の構築および脱炭素のまちの実現に寄与する。

主な質疑

Q 太陽光など脱炭素エネルギーは、農林水産業など幅広い分野に関わるが、市の取り組みは。

A カーボンニュートラルの実現に向けて、特定の部署だけでなく、市役所全体で取り組みたい。

Q 地域エネルギー会社の設立により、今の電気料金より安くなるのか。

A まず市の公共施設に電力を供給することから始め、市役所の電気料金の5%を削減する試算で事業を想定している。地域エネルギー会社と契約することで、電気料金を下げることを目指している。

文教厚生常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 白川正志
■委 員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

1件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

・妊産婦及び子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

事業の概要

令和4年4月から医療費助成（通院分）の対象年齢を18歳（高校卒業年度末）までに拡充する。

産業建設常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 田邊優香
■委 員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

5件の議案を審査しました。

・高柳産業福祉会館設置及び管理に関する条例を廃止する条例

事業の概要

令和3年度をもって高柳産業福祉会館設置及び管理に関する条例を廃止する。

主な質疑

Q 高柳産業福祉会館に入ってる高柳町商工会事務所の今後の扱いは。

A 高柳町商工会は令和5年度に他の商工会と統合予定である。商工会事務所の移転先を探したが見つからないため、高柳産業福祉

会館は廃止するが、令和5年度末まで商工会事務所の使用は可能。



高柳産業福祉会館の外観



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査した議案は
コチラ

予算決算常任委員会

■委員長 星野 正仁 ■副委員長 持田 繁義

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和3(2021)年度一般会計補正予算(第25号・第27号)など、
20件の議案について審査しました。

総務分科会

令和3(2021)年度一般会計補正予算(第25号)

●事務改善事業(440万9000円)

事業の概要

新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴う、テレワーク用端末の追加購入。

主な質疑

- Q 追加購入の台数は。テレワークの進め方と活用状況は。
- A 20台を追加する。業務の継続性を重視するとともに、市民サービスの確保と職員の

健康管理の観点からテレワークを運用している。1月から本格実施しており、2月18日時点で12件の申請があった。

- Q 労働生産性と付加価値をどのように上げるか。
- A 業務の効率、生産性の向上が期待できるものをテレワークの対象としている。将来的に、紙決裁を電子化することで、労働生産性が向上していくと考えている。

文教厚生分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第2号)

- 学校管理運営費(小学校費356万9000円)
- 学校管理運営費(中学校費137万3000円)

事業の概要

4月から6月までの間、消毒作業を実施するために必要な消毒作業員を配置する。

主な質疑

- Q 何人分の経費か。
- A 小学校36人分、中学校18人分の経費を計上した。

- Q この期間以降の対応はどうするのか。
- A その時の感染状況を見極めながら、必要であれば補正予算で対応していく。



産業建設分科会

令和3(2021)年度一般会計補正予算(第25号)

●道の駅風の丘米山整備事業(1100万円)

事業の概要

再整備に必要な諸条件整理を専門的な事業者へ委託する。

主な質疑

- Q 再整備業務委託の詳細は。
- A 道の駅に配置する施設の機能、施設規模の計画、集客を図るための提案など。

●交通安全施設修繕事業(社会資本整備総合交付金事業)(1900万円)

事業の概要

国の補正予算措置に伴い、追加措置する。

主な質疑

- Q 工事内容、優先度は。
- A 歩行空間の確保工事を小学生の通学路で優先度の高い通学路から実施する。



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目はコチラ 



高齢者福祉



近藤由香里

Q 認知症と共に生きるまちの実現に向けた施策展開を問う

A 認知症になっても安心して暮らせるよう、当事者の発信や社会参加を支援する

質問 認知症当事者の視点や気持ちを重視した啓発や社会参画、認知症サポーターの活用・展開により「認知症と共に生きるまち」実現を目指すことについて、見解を伺う。

回答 認知症当事者の声を基にした啓発や発信支援、認知症サポーターを中心とした社会参加支援を進め、認知症になっても安心して暮らし続けられるまち柏崎を目指す。

他の質問

中山間地域の未来をどう描くか
ほか



動画でチェック

学区再編



重野正毅

Q 地域要望による統合時期や統合先の変更はあり得るのか

A 学区等審議会の答申を尊重する

質問 地域の総意として学区等審議会へ要望が提出されれば、統合時期や統合先の変更はあり得るのか。また、学区等審議会では令和12年度以降の統合も検討するのか。

回答 いろいろな方々から要望や意見を承り、学区等審議会が慎重に審議した結果としての答申は尊重する。また、検討する期間は令和13年度までを対象としている。

他の質問

学校におけるDXの方向性



動画でチェック

学区再編



阿部 基

Q 学校再編後の校舎活用方法について協議すべきでは

A 審議会での検討を経て統合時期を決定するため、現段階での計画はない

質問 小・中学校の再編方針と共に、残される校舎についても、協議の進め方や計画を示すべきである。

回答 統合後の学校施設を含め廃校施設の利活用については、統合の審議状況を注視しながら関係部局と情報を共有し検討を進める。また、未利用施設に関しての相談は、公共施設マネジメント係で対応する。

他の質問

消防団員数と活動



動画でチェック

都市計画



春川敏浩

Q 柏崎駅周辺の開発に向けた市の対応策

A 立地適正化計画の中で駅前空間の利活用の方向にステップを切る

質問 柏崎駅前は一閑散とした状況が続いており、残念だ。立地適正化計画の中で、民間所有ビルの活性化を指導できないか。

回答 駅前空間の利活用は、立地適正化計画の取り組み施策の一つであり、令和3年度は課題を調査した。令和4年度以降、駅前ビルを含めた駅周辺の関係者と意見交換し、駅前空間の利活用の方向性などを検討したい。

他の質問 空き家の適正管理と利活用



動画でチェック

医療



樋口良子

Q 陽性者が濃厚接触者を判断するのは疑問

A 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者は、保健所が判断すべきだ

質問 陽性者の拡大に伴い、県は陽性者が濃厚接触者を判断すると変更したが、本来は、疫学的観点から、専門的知識を有する保健所が判断すべきだ。

回答 濃厚接触者の定義が不明瞭。陽性者の身体的・心理的な負担など問題点が多いと認識している。県市長会を通じて、24時間相談窓口の設置など改善を要望した。

他の質問 新潟県地域医療構想
新型コロナウイルスワクチン接種



動画でチェック

避難路



星野正仁

Q 冬季の避難路確保での小村峠のトンネル化を進める考え

A 市民にとって重要な避難ルート

質問 冬季は、大雪（国道353号）や強風（国道8号）で避難路の確保が困難な状況が想定される。その対策として市長が提案した野田地区・小村峠のトンネル化を進める考えについて伺う。

回答 市民にとって冬季の重要な避難ルートになると認識している。県に必要性を重ねて訴えていきたい。

他の質問 市民の心と体の健康維持

ほか



動画でチェック

公共交通



三宮直人

Q 現役世代こそ公共交通を支える当事者ではないか

A ノーマイカーウィークを拡充し、マイカーに依存した市民の意識改革を図る

質問 いざ免許返納の時期が来たときに、公共交通が無いと相当困る。主に自動車を移動手段とする現役世代こそ、公共交通を支える当事者であり、利用の促進が必要だ。

回答 ECO2プロジェクト事業の付与ポイント増や市独自のノーマイカーチャレンジ月間の実施などで、マイカーに依存した生活習慣を見直し、市民の意識を高めていく。

他の質問 柏崎経済の付加価値向上



動画でチェック

環境



山本 博文

Q 資源物リサイクルセンターの今後の方向性

A 市内東側地域で資源物リサイクルセンターの増設が必要と考えている

質問 資源物リサイクルセンターの利用者数は増加傾向にあり、市内2カ所の他に増設が必要と思うが今後の方向性は。

回答 資源物リサイクルセンターの利用者数は増加していて、駐車スペースの不足や周辺道路の渋滞が起きている。市内東側地域で増設を検討していて、公共用地や民間施設の跡地利用を含めて取り組みたい。

他の質問

18歳成人年齢引き下げ



動画でチェック

自然環境



秋間 一英

Q ネオニコチノイド系殺虫剤が環境に及ぼす影響

A 科学的知見に基づきその見解や対応を見極めていく

質問 農作物の受粉に欠かせないミツバチなどを殺傷する能力が高い殺虫剤が、生態系のサイクルを脅かしているとの報道がある。市では、どう捉え、対応するのか伺う。

回答 市内ではご指摘の殺虫剤によると思われる被害は確認されていないが、国からの科学的な根拠が示された上で、国や県に対し実態把握や原因究明を要請していく。

他の質問

公営住宅と集住率

ほか



動画でチェック

学区再編



村田 幸多朗

Q 高柳小学校・第五中学校を早急に廃校とするのはなぜか

A 子どもたちの教育環境充実の観点から、小・中学校の再編方針を提案した

質問 高柳小学校と第五中学校はなぜ早急に廃校しなければならないのか。決定事項か。地域にとって学校の役割は大きい。通学時間のデメリットは解消不可能ではないか。

回答 子どもたちの教育環境を第一に考え提案したもので、決定事項ではない。今後丁寧な対応に努めたい。通学時間が子どもたちの負担にならないように検討したい。

他の質問

第五次総合計画後期基本計画との整合性



動画でチェック

介護予防



白川 正志

Q 健康寿命の延伸に向けて多面的な人と人とのつながりを

A 個人向けに、コツコツ貯筋体操のラジオ放送や動画配信など環境を整えている

質問 介護予防活動に参加していない高齢者に対し、地域や既存のコミュニティー向けだけでなく、多面的な事業計画はあるか。

回答 健康寿命の延伸に向け、特に男性や前期高齢者の参加を増やしていくことが必要。国の「オンライン通いの場」アプリなどオンラインツールの活用も視野に入れながら、介護予防と社会的孤立の解消を推進する。

他の質問

主体的な個の挑戦が共感から共育となり共創を生む



動画でチェック

原発



星野幸彦

Q 6号機大物搬入
建屋の基礎杭損傷に
ついて見解を伺う

A 東京電力ホールディングス
株式会社の一定の管理責任
は責められてしかるべき

質問 破断の原因は、基礎杭の周りに建設時の硬い土が撤去されず残されており、中越沖地震の応力が集中したためと推定されている。市長の見解を伺う。

回答 直接の原因は地中の残存物の除去を確認していなかったという単純なものであり、施工業者に対する詰め甘さ、一定の管理責任は責められてしかるべきと考える。

他の
質問



動画でチェック

エネルギー



布施 学

Q 営農型太陽光発
電の促進には事業収
支モデルが必要では

A 太陽光発電の導入策を調査
するための費用を新年度予
算に計上した

質問 農地上で行う営農型太陽光発電事業を推進していくためには、確実に利益が見込まれるという事業モデルや収支モデルが必要と考えられるが、市の見解を伺う。

回答 令和4年度に営農型を含む太陽光発電の導入に向けた調査を行う。初期投資、メンテナンス、終了後の処分費用も含めて収益が確保できるモデルプランを検討したい。

他の
質問

災害におけるガソリンなど燃料
の重要性



動画でチェック

学区再編



笠原晴彦

Q 小・中学校が統
合することで考えら
れること

A 同世代と切磋琢磨する機会
が増える。通学時間の増加
は課題が残る

質問 統合することでのメリット・デメリット、通学方法などで思いつくことすべてを伺う。

回答 メリットとして、同世代と切磋琢磨する機会が多くなる。学級数が多いほど教員の数が増え、学習環境が充実する。通学時間の増加はデメリットであり、児童・生徒の負担を少しでも軽減できるよう検討する。

他の
質問

米価下落から農家を守るには



動画でチェック

事業者支援



持田繁義

Q 長引くコロナ禍、
事業者の資金繰りを
支える方策を

A 金融機関と連携し、支援を
続ける

質問 コロナ禍対応での借入金の返済が本格化する。元金返済据え置き延長、返済猶予など金融機関と連携し、事業者の資金繰りを支える方策を検討してほしい。

回答 コロナ禍から脱しきれない中での借入金返済に関して、金融機関も倒産の危機を感じて対応していると聞く。引き続き金融機関と情報交換し、しっかり支援していく。

他の
質問

柏崎刈羽原子力発電所に関わる
根本問題



動画でチェック

水道事業



佐藤正典

Q 水道事業の歴史と水の魅力発信による郷土愛の醸成は

A 水道の歴史と魅力は柏崎の宝であり、市内外に広く周知して責務を果たす

質問 水のふるさと展示室（上米山コミセン内）の見学やダムの水源探索などを通じて水道事業の歴史と水の魅力を市民にPRしていくことが、郷土愛を育み、移住定住にもつながるのではないかと。

回答 校外学習や土曜開館などで展示室の利用者増加を図る。ダムでの乗船体験機会も増やし、PRと魅力発信に取り組む。

他の質問 市職員の定年延長の導入を見据えた今後の方向性



動画でチェック

子育て支援



若井恵子

Q 3歳児健診における視覚検査の充実を図る考えは

A 視覚検査に屈折検査機器の導入は必要と認識

質問 視覚の発達のリミットが6歳から8歳といわれている。3歳児健診での視覚検査が大変重要であり、視覚検査の精度を上げるために屈折検査機器を導入する考えはないか。

回答 視覚の発達の重要性を考えると3歳児健診における屈折検査機器の効果は明らかであり、必要である。準備を進め、屈折検査機器の早期導入に取り組んでいく。

他の質問 女性の生命と健康を守るために行政情報のオープン化



動画でチェック

ギカイのうごき

CHECK!
1

意見書1件を可決、
意見書1件を否決

2月定例会議において、委員会発案で提出された「国民の祝日『海の日』の7月20日への固定化を求める意見書」を全会一致で可決しました。

議員発案で提出された「高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める意見書」を賛成少数で否決しました。



詳しくはコチラ

CHECK!
2

委員会へのオンライン
出席が可能に

2月定例会議において、委員会発案で提出された「議会委員会条例の一部を改正する条例」と「議会会議規則の一部を改正する規則」が全会一致で可決されました。

災害・感染症や疾病・育児・看護・介護などで参集が困難な場合に、委員長の許可を得て、オンラインで委員会に出席することが認められるようになりました。

「信頼と期待」に応える議会活動を推進

～令和4（2022）年度のスタートに当たって～



議長 真貝維義

日頃から、議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。令和4（2022）年度の始まりに当たり、柏崎市議会の活動について紹介させていただきます。

「信頼と期待」を託された議会の役割として住民の多様な意見を市政に反映させるべく、「市民の信託に応える合議体たる議会づくり」を基本理念に、これまで議会改革を進めてきました。

昨年度は、第五次総合計画後期基本計画および新型コロナウイルス感染症に伴う市民に対する支援についての政策提言や、予算から決算・施策評価に至る様々な審査・提言を行う予算決算常任委員会の設置を行いました。さらに、各常任委員会の活動をより重視して、所管調査として各々施策テーマを決めて課題に取り組むことといたしました。

総務常任委員会 男女共同参画

柏崎市男女共同参画推進条例の制定後も男女平等であると考える人の割合が大きく変わらないことから、「ワーク・ライフ・バランス」を中心に市民の意見を聞き、原因・課題を研究してまいります。

文教厚生常任委員会 子どもを取り巻く環境の充実

「子育て支援」と「学校教育」の視点で調査研究を行い、行政の取り組みと市民意識や実態とのギャップを小さくし、効果的な制度や事業を組み立てていけるよう提言していきます。

産業建設常任委員会 産業振興と人材育成

第五次総合計画後期基本計画から「果敢に挑戦する企業等への支援強化」と「情報関連産業の振興」を取り上げました。幅広いテーマですが、勉強会や視察を含めて研究してまいります。

今年度は、柏崎市議会議長が会長を務める全国原子力発電所立地市町村議会議長会が主催する第13回全国原子力発電所立地議会サミットが10月に開催されます。原子力発電所立地地域の課題をしっかりと議論して、国や関係機関への提言・要望につなげてまいります。

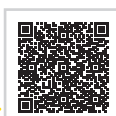
また、市民の代表機関である議会は、情報公開と説明責任の遂行、透明性と公平・公正の確保、政策活動などへの多様な市民参画の促進、政治倫理の向上を図る責務があることから、市民に開かれた議会を目指し、引き続き市民の皆さまとの意

見交換会・議会報告会を実施してまいります。

柏崎市の意思決定機関として、市勢の発展、市民自治および市民福祉の向上を目指して、議会が合議体としてその使命と責任を果たしていくために、さらなる議会改革を進めてまいります。

結びに、市民の皆さまのご多幸とご健勝、内外の平和と繁栄をお祈り申し上げます。

議長あいさつ



全国原子力発電所
立地市町村議会議長会



会派で政務活動を行いました



社会クラブ

■ 8月5日(木)



視察研修内容

- 新潟水俣病のあらまし
- 公害被害における住民訴訟の意義と課題

詳しくはコチラ



経済優先の国策による公害の被害を改めて学ぶ

新潟水俣病共闘会議の高野氏の案内により、新潟水俣病の原因である旧昭和電工鹿瀬工場・メチル水銀が流出した阿賀野川につながる排水口など、現地において当時の状況のフィールドワークを行った。また、新潟水俣病患者会の皆川氏を訪ね、発症当時の阿賀野川流域の周辺地域の暮らしや住民の被害状況、今も続く裁判訴訟などによる住民の生活の変化やいわれのない差別・偏見、住民間の分断など実際の体験としての説明を受けた。

話の中で「経済優先の国策に^{ほんろう}翻弄され結局被害を受けるのは住民である、原因や事象は異なるが住民が被害を被る構図は原発事故と同じだ」と語られたことが心に残る。原子力発電所が立地する柏崎市も他人事ではないと本視察で改めて痛感した。住民が安心して暮らせる環境づくりが重要である。

公明党

■ 11月24日(水)、25日(木)



視察研修内容

- 原子燃料サイクル施設の安全対策
- リサイクル燃料貯蔵施設の現状と課題

詳しくはコチラ



原子燃料サイクル施設の今

六ヶ所村にある原子燃料サイクル施設では、新規制基準に則って重大事故につながる要因への対策に防護ネットや防護板を設置する安全対策など重層的に取り組んでいた。また電源の多重化や多様化を進めていた。日本のエネルギー政策を進める原子燃料サイクルに向けた現状を確認できた。

むつ市のリサイクル燃料貯蔵施設の現状と課題

柏崎刈羽原子力発電所の使用済み核燃料プールに保管されている使用済み核燃料体は、プールの81%を占めている現状にあり、むつ市にあるリサイクル燃料貯蔵施設(RFS)の稼働は大変重要であるとする。操業開始時期が8回も延期されていることから、保安規定の認可に向けた安全対策工事の現状を視察するとともに、早期の操業に向けた課題を確認する視察となった。

柏盛クラブ

■ 3月29日(火)



視察研修内容

- 住み続けられるまちづくり研修
- SDGsと地方創生の基本研修

詳しくはコチラ



2つの研修を受け、会派で情報共有し、柏崎市での進め方などについて研究しました。

政策の視点は「社会的ジレンマの解消」

SDGs 持続可能な開発目標11「住み続けられるまちづくりを」が自治体の政策検討の規範である。住み続けられるまちづくりのために社会的ジレンマを解消していくことを重要な視点として、市の政策を評価していきます。

SDGs「市民の福祉の増進」のための手段

日本のSDGsの達成状況は、2021年時点で165カ国中18位。現在日本のSDGs達成項目は4・9・16であり、重大な課題のある項目は5・13・14・15・17とのことでした。SDGsはあくまで手段であり、議会あるいは自治体としての目的は「市民の福祉の増進」です。それを肝に銘じながら、市の取り組みを見極めていきます。

会派の変更がありました

「社会クラブ」と「柏崎のみらい」が解散し、新しい会派「社会クラブ・柏崎のみらい連合」が2月10日に結成されました。

委員を変更しました

会派の変更に伴い、佐藤正典議員が議会広報広聴常任委員を辞任しました。

詳しくはコチラ



topics

市議会ホームページを リニューアルしました

会議の日程など議会の情報を分かりやすくお伝えするために、3月23日に市議会のホームページをリニューアルしました。お気に入り登録などのページがリンクエラーになった場合は、恐れ入りますが登録し直してください。

市議会
トップページ



6月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6 本会議 議案説明・質疑・付託	7 委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	8 委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11
12	13 本会議 (一般質問・予備日)	14 委員会・分科会 産業建設	15 委員会・分科会 文教厚生	16 委員会・分科会 総務	17 (委員会・予備日)	18
19	20 委員会 予算決算	21 本会議 委員長報告・採決	22	23	24	25

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会の傍聴をご遠慮いただく場合があります。
本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。録画映像と会議録も公開しています。



議会日程

会議録・
中継・傍聴

■ 柏崎市議会は、ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議します

3月2日の本会議において、委員会発案で提出された「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を全会一致で可決しました。

決議文
(PDF)

編集後記

晴れ渡った空に新緑の青葉、すがすがしさを感じる季節になりました。

令和4年度の予算が可決され、人口減少が少しでも緩やかなものとなることを期待するとともに、市民の方々と危機感を共有し、「力強く心地よいまち」柏崎を目指します。

まだまだ新型コロナウイルス感染症に対し、油断はできませんが、一日も早く終息し、日常の生活が戻ることを願うとともに、皆さまの健康を祈念申し上げます。

議会広報広聴常任委員
阿部 基

次回発行は8月5日
お楽しみに

柏崎市議会

Q 検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 三宮直人

副委員長 星野幸彦

委員

布施 学 重野正毅 田邊優香

白川正志 樋口良子 相澤宗一

若井恵子 阿部 基